



シンポジウム

まちの記憶を育てる

— 宮城県美術館が紡いできたもの —

2020

9/19

[土曜]

14:00 ~ 17:00

無料・要事前予約

佐藤 一郎 画家

大宇根 弘司 建築家

森 まゆみ 作家

会場

せんだいメディアテーク
1階 オープンスクエア

(仙台市青葉区春日町 2-1) ※定員 88 名

突然の移転計画に揺れる宮城県美術館。

40年近くにわたって県民に愛されてきた美術館は、まちの記憶のゆりかごの一つでもあります。宮城県美ネット初のこのシンポジウムでは、まち、建物、美術など多様な視点から、当会顧問の3人のアーティストをお招きします。佐藤一郎さん（東北生活文化大学学長、東京藝術大学名誉教授）、大宇根弘司さん（佐藤忠良記念館設計者、元日本建築家協会会長）、森まゆみさん（市民活動家、日本ナショナルトラスト理事）が、宮城県美術館の現地存続への想いを語ります。

事務局

宮城県美ネット（宮城県美術館の現地存続を求める県民ネットワーク）
〒982-0801 仙台市太白区八木山本町 1-38-3
電話：090-7664-1147 メールアドレス：miyagikenbi.net@gmail.com

事前予約の方法

コロナ対策のため事前予約制とし、本来300名収容の会場ですが88名定員としております。予約は先着順ですが、募集人数に達した場合には宮城県美ネットの会員を優先することがあります。ご容赦ください。ウェブ同時配信のご視聴をお願いします👉

事前予約のお申し込みはできるだけインターネット上のお申し込みフォームからお願いします。フォームには右のQRコードから移動可能です。→



フォームから予約ができない場合は事務局のメールアドレスに、件名を「9/19シンポジウム」として、氏名・住所・電話番号ご連絡ください

ウェブで配信します

開催時にリアルタイムでYouTubeで配信する予定です。詳細はウェブサイトで公開する他、会員の方にはメールニュース等でお知らせします



<https://www.save-mmoa.org>

宮城県美ネット

検索